

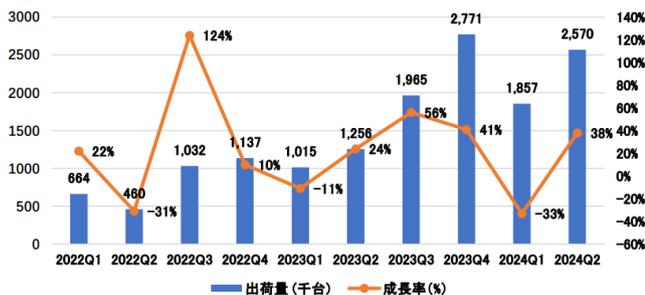
深圳レポート

折りたたみ式スマートフォンの市場拡大—ニッチ市場からメインストリームへ

折りたたみ式スマートフォンは、2019年の発売以来、世界市場で注目を集め、販売台数も徐々に増加している。Trend Forceのデータによると、2023年の世界における折りたたみ式スマートフォンの販売台数は約1,590万台で、全スマートフォン販売台数の1.4%程度に過ぎず、市場シェアはまだ小さい。

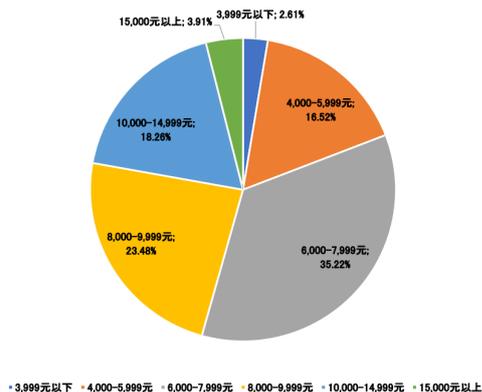
従来型のスマートフォンと比べると、折りたたみ式スマートフォンの市場シェアは依然として小さいが、近年の成長傾向は、このカテゴリーが今後の市場拡大の可能性を示している。

中国折りたたみ式スマートフォンの出荷量と成長率
(2022年Q1 - 2024年Q2)



中国の消費者の年齢層別分析では、折りたたみ式スマートフォンの主なユーザーは20歳から40歳までの年齢層に集中している。この消費者層は、一般的に高収入であり、新しい技術や革新的な製品に対して受容性が高い。価格に関する感度については、6,000元から9,999元の製品を愛好する傾向が強い。この価格帯の製品は、機能性を確保しつつ、コストパフォーマンスが良いとされ、消費者に好評を得ている。

2024年、中国の折りたたみ式スマートフォンユーザーが購入した折りたたみ式スマートフォンの価格帯



消費者ニーズ

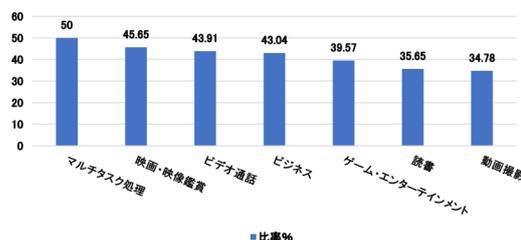
折りたたみ式スマートフォンは、多様な消費者ニーズに応えており、一部の消費市場では顕著な成長を見せている。特に高級ギフト、ビジネス用、ゲーム・エンターテインメント市場において、その需要が顕著である。この需要は主に、マルチタスク処理能力とエンターテインメント体験に集約されている。

まず、高級ギフト市場は折りたたみ式スマートフォンの成長において重要な分野である。七夕や520(いずれも中国版バレンタインデーに類似した日)などの祝祭期間には、折りたたみ式スマートフォンを親友や家族への高級ギフトとして選ぶ消費者が多い。JD.comなどのECプラットフォームによれば、こうした祝祭期間中の折りたたみ式スマートフォンの販売台数は、通常時に比べて明らかに増加している。中・高所得の若年層や中年層の消費者は、こうした高価な製品に対してより多く支払う意欲があり、これが市場の成長を促している。

次に、ビジネス市場における折りたたみ式スマートフォンの需要も着実に増加している。折りたたみ式スマートフォンのマルチタスク処理能力は、特にビデオ会議、文書編集、データ分析を頻繁に行うビジネスパーソンに適している。こうしたユーザーは、大画面を活用して複数のタスクを同時に処理でき、作業効率が向上する。

最後に、ゲームやエンターテインメント市場においても、折りたたみ式スマートフォンはその魅力を示している。ゲームプレイヤーや映像愛好家は、折りたたみ式スマートフォンの大画面に惹かれている。折りたたみ設計は持ち運びが便利で、優れたエンターテインメント体験を提供する。特に、極上の視覚体験を追求するユーザーにとって、折りたたみ式スマートフォンはゲームや動画鑑賞において重要な選択肢となっている。

2024年、中国の折りたたみ式スマートフォンユーザーが購入した主な目的



ブランド競争

現在、折りたたみ式スマートフォン市場の主要ブランドは、Huawei、Samsung、小米 (Xiaomi) である。それぞれのブランドが市場において異なるポジションとパフォーマンスを示している。

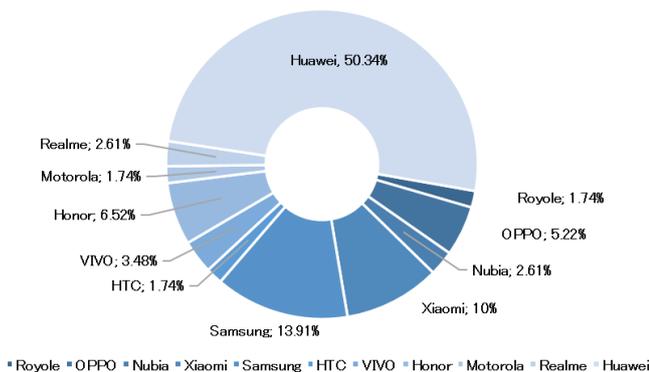
市場データによると、2023年、中国の折りたたみ式スマートフォン市場では、Huaweiが50%以上の市場シェアを占めている。他のブランドであるSamsungやXiaomiも、それぞれの製品を通じて市場シェアを高めている。全体的に見て、特に高級市場において、折りたたみ式スマートフォンは一定のシェアを占めている。

Huaweiは、中国市場において折りたたみ式スマートフォンで際立ったパフォーマンスを見せている。早期の製品展開により、Huaweiはこの分野で高い市場シェアを確立している。また、三折りデザイン折りたたみ式スマートフォンは、新たな製品形態を市場に提供し、一部のスーパー・コンシューマーを惹きつけている。

Samsungは、世界市場における折りたたみ式スマートフォン市場で重要な位置を占めている。Samsungの製品ラインナップは幅広く、ハイエンド市場をカバーしつつも、価格が比較的手頃な製品も提供しており、さまざまな層の消費者ニーズに応えている。

Xiaomiは、価格競争力を武器に、折りたたみ式スマートフォン市場で急速にシェアを獲得している。Xiaomiの製品は柔軟に位置づけられ、高級市場向けの折りたたみ式スマートフォンだけでなく、比較的低価格の製品も展開し、より多くの消費者に対応している。

2024年、中国の折りたたみ式スマートフォンユーザーが使用しているブランド



販売チャネルとプロモーション戦略

折りたたみ式スマートフォンの販売チャネルは主にオンラインのECプラットフォームとオフラインの実店舗に分かれている。データによると、ECプラットフォーム (JD.comやTmallなど) が折りたたみ式スマートフォンの販売で主導的な役割を果た

しており、特にプロモーション期間中は販売が顕著に増加する。七夕やダブル11 (中国最大規模のECセール) などの大規模プロモーションイベントでは、割引やクーポン、予約販売などの多様なプロモーション手段を通じて、売上が大きく伸びている。たとえば、JD.comの「先人一步」プログラムでは、ユーザーが新製品を事前予約できるため、新製品に興味を持つ多くの消費者を引き付けている。

オンラインチャネルのもう一つの利点は、アフターサービスが充実していることである。特に折りたたみ式スマートフォンのような新しい技術で修理コストの高い製品に対して、ECプラットフォームは「30日間無憂試用 (安心してお試しください)」や「9.9元スクリーン破損保険」など、多様なサービスを提供しており、消費者の購入リスクを軽減し、購買意欲をさらに高めている。

オンライン販売の割合が大きい一方で、高級製品の販売においてオフラインの実店舗も重要な役割を果たしている。特に高級折りたたみ式スマートフォンを購入する消費者は、実店舗で製品を体験することを好む傾向がある。オフライン店舗では、折りたたみ式スマートフォンの外観、手触り、操作方法を実際に体験する機会を提供しており、それが消費者の購入意欲を高めている。

市場の課題

折りたたみ式スマートフォンは発展の過程でいくつかの市場課題に直面している。まず、価格問題は依然として折りたたみ式スマートフォンの大きな障壁である。高級製品の価格は1万円を超え、多くの消費者にとって依然として高価である。一部のブランドは中価格帯の製品を投入しているが、価格は依然として購入決定に影響を与える重要な要素である。

次に、耐久性や修理コストも消費者の懸念材料である。折りたたみ式スマートフォンの画面の折り目やヒンジの耐久性に関する問題は完全には解決されておらず、消費者は長期使用後の修理費用を心配している。これらの問題は、折りたたみ式スマートフォンに対する一部消費者の信頼に影響を与えている。

折りたたみ式スマートフォンがニッチ市場からより大きなメインストリーム市場へと成長できるかどうかは、今後注視すべき課題である。おそらく、折りたたみ式スマートフォンの運命を決定するのは、技術進化だけではなく、消費者がこの新しい形態のデバイスに対して長期的な価値を認めるかどうかであろう。

FUTURUS: HUD技術が創り出すヒューマンマシンインターフェース

社名	未来（北京）黒科技有限公司	英語名	FUTURUS	
代表者	徐俊峰	URL	https://www.futurus.co	
所在地	北京市北京経済技術開発区康定街15号院4号楼5層501室			
売上(RMB)	—	従業員(人)	—	創業年
登録資本金	1000 万人民币元			
サービス内容	光学技術や拡張現実技術を活用し、高性能なHUD技術を軸に、多様なディスプレイソリューションや製品を提供			

車のスマート化および自動運転技術の急速な進展に伴い、HUD(ヘッドアップディスプレイ)は、運転体験と安全性を向上させる重要な技術として注目されている。当初は高級車に搭載されるオプション装備であったが、現在では多くの車種で標準装備となりつつある。特に電気自動車やスマートcockピットの普及により、HUDの市場需要は急激に増加している。

未来(北京)黒科技有限公司(以下、FUTURUS)は、設立以来、車載ディスプレイ技術の研究開発と応用に専念しており、業界で最先端のHUD製品を提供することに注力している。同社は独自の光学設計、ソフトウェアアルゴリズム、ヒューマンマシンインターフェースシステムを通じて、車載ディスプレイ技術の分野で重要なイノベーターとなっている。

主要製品

WHUD(フロントガラスペッドアップディスプレイ): FUTURUSの基本製品であり、車速、ナビゲーション、運転支援情報など、基本的な運転データを表示する。情報はフロントガラスに直接投影され、運転シーンに応じて動的に調整できる。この製品は理想(Li Auto)のLシリーズに搭載され、高級電気自動車(EV)に広く使用されている。

ARHUD(拡張現実ヘッドアップディスプレイ): 拡張現実技術を用いて、ナビゲーション情報や道路案内を現実世界と融合させ、直感的な運転体験を提供する。例えば、車がレーン変更や曲がり角を迎える際、ARHUDは路面上に仮想のフロントガラスペッドアップディスプレイ矢印を表示し、運転者が即座に反応できるようにする。

ライトフィールドARHUD: FUTURUSのライトフィールドARHUD製品は、三次元虚像の表示が可能であり、奥行き感と空間感を提供する。運転シーンにおいて、より自然な視覚体験を提供し、将来の高級スマートcockピットのコア技術の一つとして位置づけられている。

PHUD(フロントガラス全幅に渡るヘッドアップディスプレイ): FUTURUSの最新製品であり、運転者の視界をより広範囲にカバーし、車窓全体に情報を投影することができる。この製品は

特に高度自動運転シナリオに適しており、運転の各フェーズに応じた多様な情報を提供する。

市場の成果

設立以来、FUTURUSはHUD市場で着実な進展を遂げている。同社はHUD製品の量産を迅速に実現しただけではなく、技術力と製品品質によって市場から一定の注目を集めている。

FUTURUSの重慶スマート工場が稼働してから25ヶ月で、50万台以上のHUD製品を出荷し、中国HUD業界で最も出荷量が急速に増加した企業となった。

自動車産業総合サービスプラットフォームの市場データによると、FUTURUSは中国HUD市場で10.6%の市場シェアを占め、特に30万元以上のハイエンド市場では21.48%の市場シェアを誇り、トップの座を占めた。この結果により、FUTURUSは中国HUDサプライヤーのトップ3に名を連ね、ハイエンド市場において確固たる地位を確立した。

FUTURUSの顧客はBMW、Audi、理想(Li Auto)、蔚来(NIO)、長城(GWM)、吉利(Geely)、比亞迪(BYD)などの有名な自動車メーカーが含まれている。また、技術革新と市場拡大のための強力な支援を提供している。

最新の技術発表

FUTURUSは技術革新を通じて製品のアップグレードを推進しており、現在、HUDの光学設計、ソフトウェア開発、プロジェクト管理に専念する300名以上の研究開発チームを有している。2024年には、新たなライトフィールドARHUD製品を発表し、中国のある大手新エネルギーブランドの戦略的モデルで量産化される予定である。この製品は複数の視覚的な奥行き効果を持ち、高フレームレート、高性能のリアルタイム3Dレンダリングを実現し、複数のセンサー融合アルゴリズムと空間動作キャプチャ技術を組み合わせることで、運転時のめまい感を軽減し、HUD表示と現実の運転環境の安定的な結合を確保する。

さらに、FUTURUSは次世代のHUD技術(MRHUD、混合現実HUD)の開発にも積極的であり、今後5年間で技術的なブレイクスルーが期待されている。

伝統医学からの 「漢方ミルクティー」が流行

中国の伝統医学は「中医学」と呼ばれ、伝統医学で治療を施す病院を「中醫院」といいます。また、「中薬」は日本でいう漢方薬に近いものでもあり、東洋医薬の重要な基盤でもあります。

とはいえ、中国の場合、日本と同様に西洋医学(医師・病院)によって、主要な医療体系が構成されています。

近年は中医学と西洋医学双方の薬と治療法を融合させ、それぞれの優位性を発揮することで治療効果を高めようとする「中西医结合科」が設けられるなど、中医学・漢方が注目を集めています。

伝統的な中医学では、薬と食べ物は同源であるという理論があり、漢方薬は多成分・多標的・多経路の相乗的調節作用があることから、罹患期間が長く、罹患率が高く、長期予後が不良な慢性疾患の予防と治療に適していると言われています。

現在、多くの若者はストレスとプレッシャーを抱えて、不規則な食生活と休息パターンを取るケースが多く、健康を損なう状態に陥っている人が多い中、「漢方」「養生」(※養生:健康の増進を図ること)への関心度が高まっていることから、漢方成分を添加されたコーヒー、茶飲料、パン、アイスクリームなどの食品が話題になっています。

若者の都市でもある深センでも「中医奶茶」こと「漢方ミルクティー」を出品する中醫院が注目を受けています。

深セン市宝安区中醫院と飲食会社が共同で設立した「宝心堂」は、病院の一角に店舗をおき、ミルクティー、漢方茶、お茶ドリンク、デザートなどの商品を販売しており、その多くは漢方薬を含んでいます。

また、漢方を広めようとイベントも多数開催されており、直近深センの大型ショッピングモールでは若者達をターゲットにした「養

唯来企業管理諮詢(深圳)有限公司
副總經理

姜 香花

日本・中国専門の進出・撤退案件のエキスパート。
現在はクロスボーダーM&Aも手がけている。日本人、中国人の気持ちを理解したコンサルティングに定評。中国事業再編・M&Aサービス担当。



生市場」が開催されました。漢方ミルクティーで有名な深セン市宝安中醫院もブースを出して、毎日異なる診療科の中医医師によりニキビ、睡眠障害、関節の痛みなどの健康問題について、無料の医療相談と診断が行われました。また、漢方の「処方表」に基づいて、自分の症状に利く好みの漢方ハーブを選んで、オリジナル健康ティーバッグをDIYすることもできるなど、若者達を引き寄せる販促がされています。

少子高齢化、医療負担の加重などを背景に、中国政府は「健康中国」を国家戦略に掲げ、医療・医薬・福祉を含むヘルスケア産業の発展を奨励しており、中医と漢方もその中に含まれています。最近では、医療保険支払い範囲の管理が徐々に緩和され、多品目の漢方薬が制限解除しつつあります。

伝統医学・漢方の市場が拡大されていく中、また新しいアイディアの漢方に由来する商品も開発されていくと思います。



MICS編集部提供: 左側は漢方ミルクティー、右側は漢方アロマ



深圳未来创新服務中心
MIRAI Innovation Center Shenzhen

深圳市南山区粤海街道海天二路 19 号盈峰中心ビル 2301
TEL:86-135-3089-3085
<https://micsz.jp/>